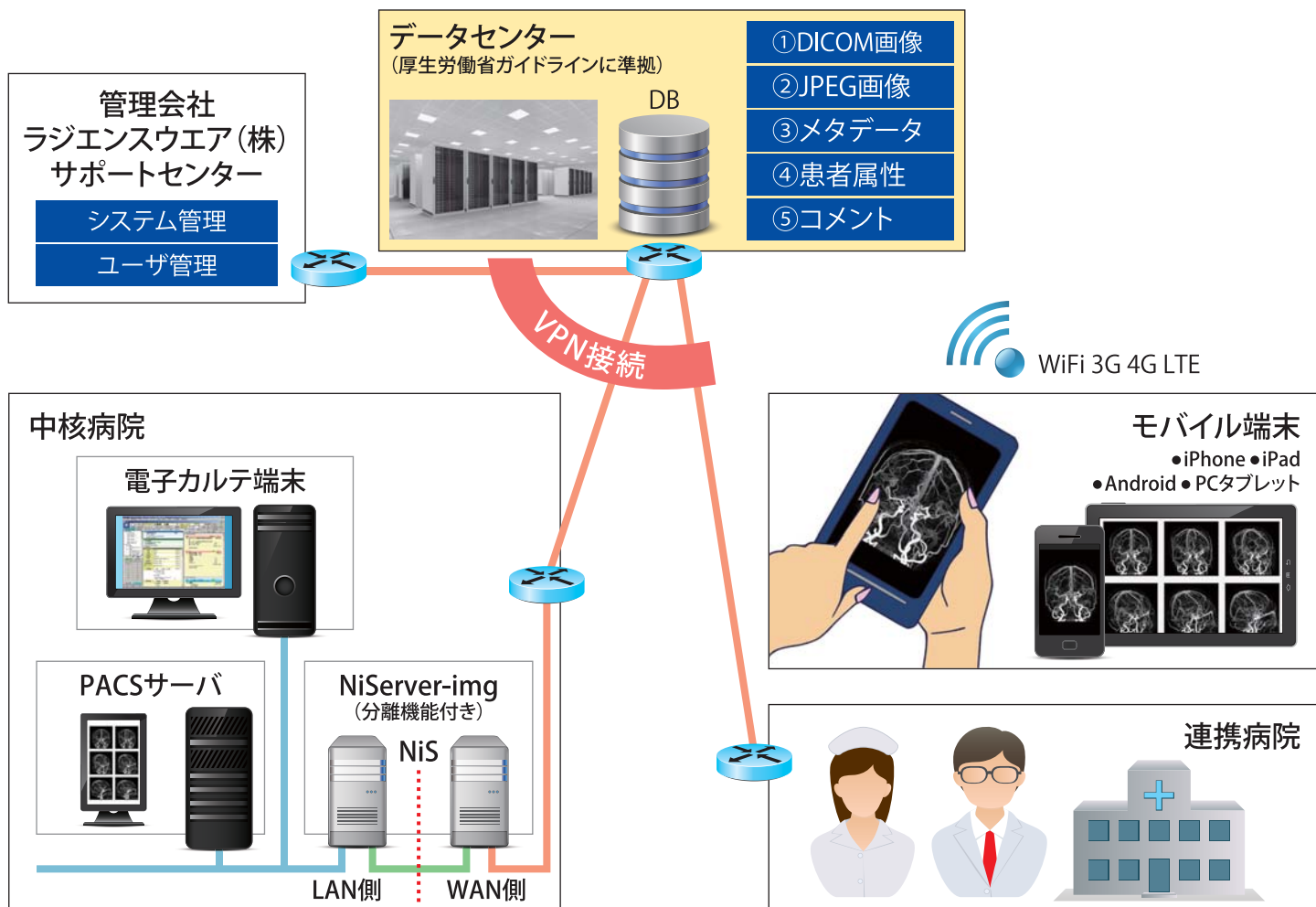


# システム構築イメージ



本システムは「山梨大学医学部脳神経外科」「早稲田大学大学院中里研究室」「ラジエンスウェア株式会社」が共同で研究開発を進めています。

お問い合わせ TEL 0495-35-0081 E-mail [radiance@radianceware.co.jp](mailto:radiance@radianceware.co.jp)



本社(埼玉県上里町)



早稲田大学と共同研究



サポートセンター



当社キャラクターラジオン君

## 取り扱い事業

- 院内ICT化支援
- 電子カルテシステム
- システム連携サーバ
- 医療情報総合システム
- レセプトコンピュータ
- サーバ仮想化
- 地域医療連携システム
- 検査統合システム
- データバックアップ



日医IT認定サポート事業所  
高度管理医療機器等 販売業・賃貸業許可証  
プライバシーマーク使用許諾事業者



**ラジエンスウェア株式会社**  
〒369-0313 埼玉県児玉郡上里町堤 696-7  
<http://www.radianceware.co.jp/>

取扱店

# Medical Highway — 医療のICT化でQOLの向上に貢献

医療画像配信システム

# MUCSimg

Medical ubiquitous communication service

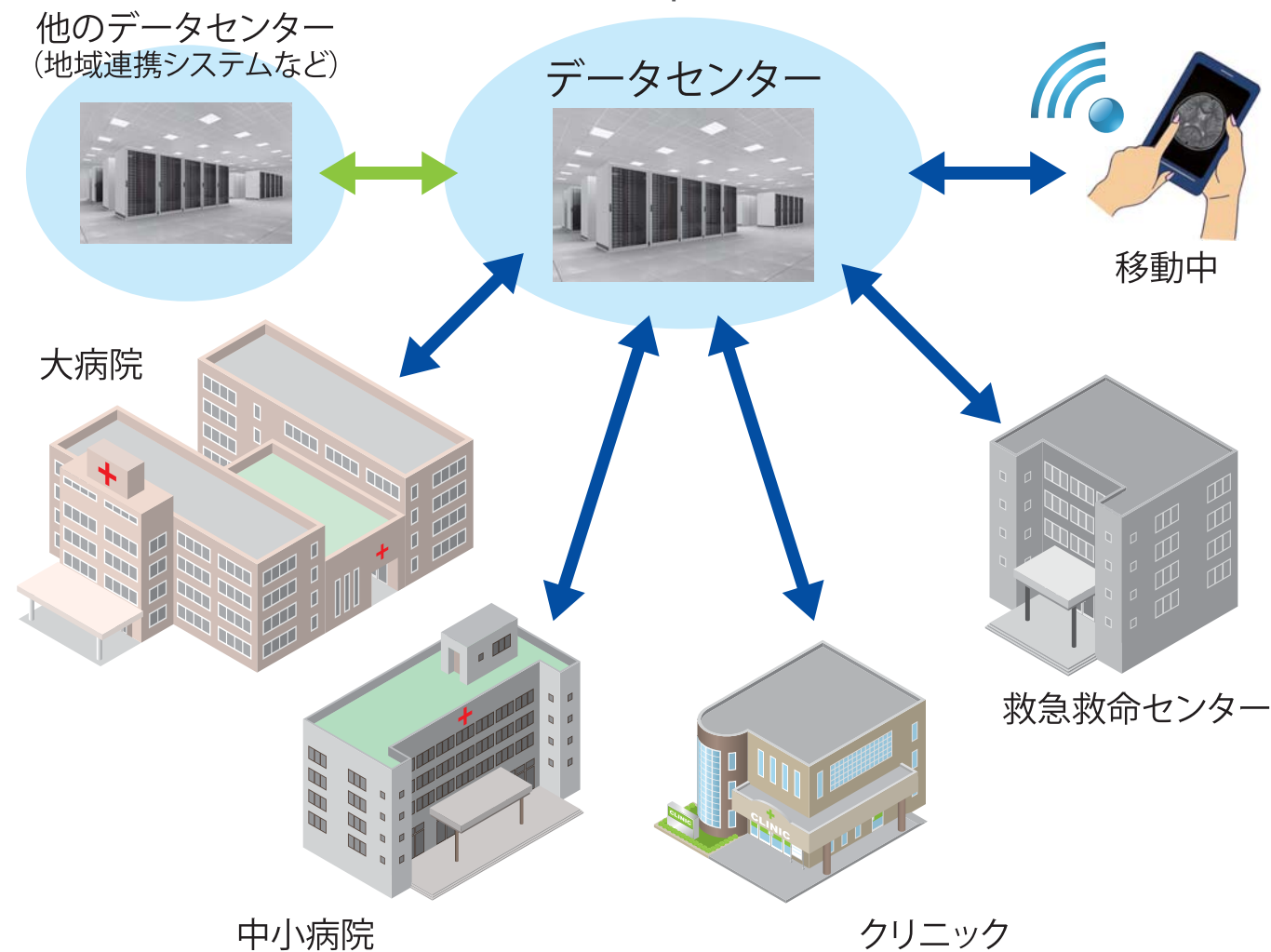


画像やデータを迅速に配信。  
「いつでも、どこでも」閲覧できる。



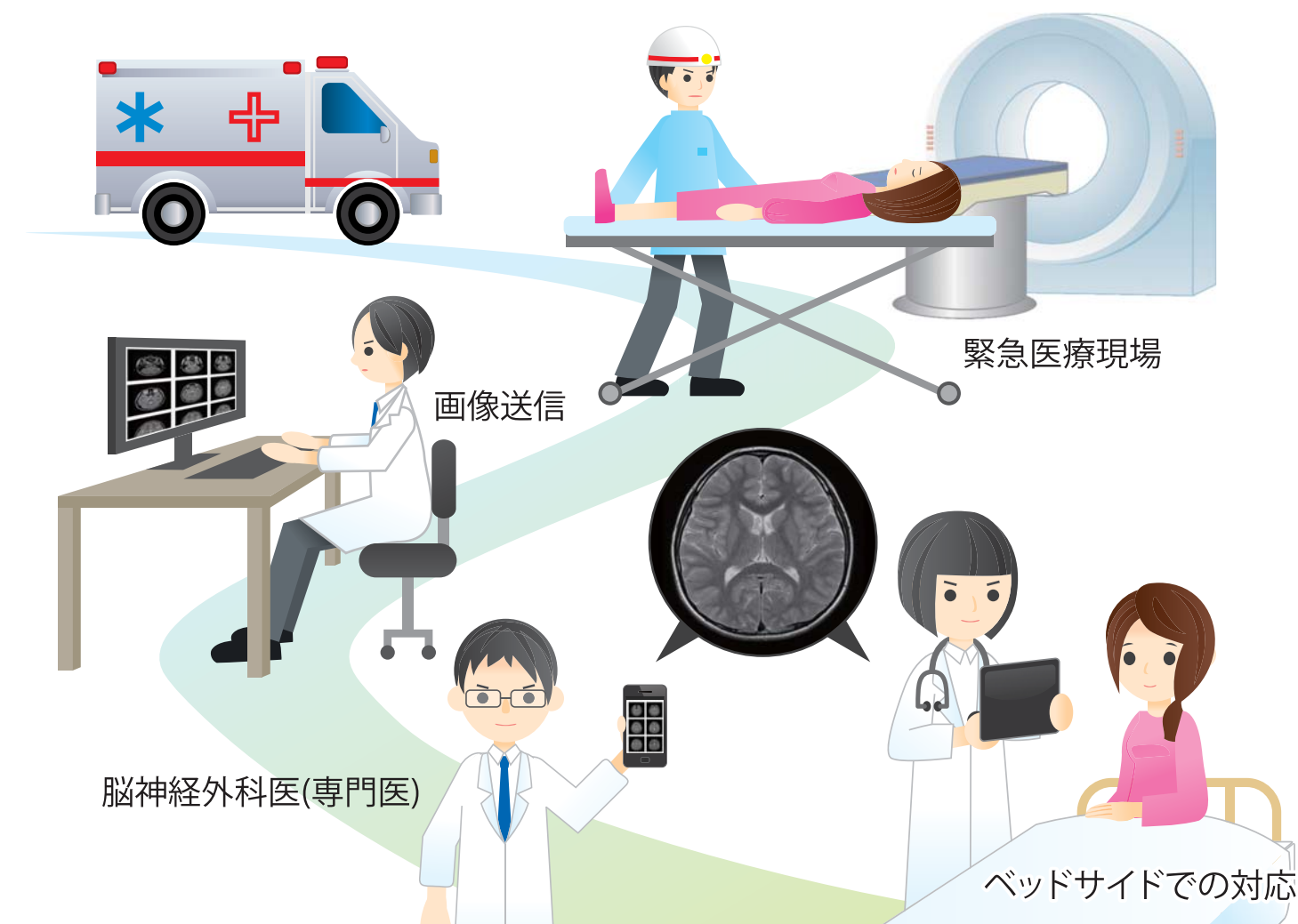
# 医療画像配信システム MUCSimg

Medical ubiquitous communication service



## いつでも、どこでも、安全、便利に!

医師が画像や情報を迅速に確認し、指示を出せる仕組みを構築することで、質の高い医療サービスに貢献いたします。



## システムの特徴

<b>操作性</b>	病院内の電子カルテ端末からPACS画像を呼び出し、予め登録してある送り先をプルダウンで選択するだけで送信できます。受け取った端末にURLが表示されるので、これをタッチ・クリックするだけで画像が表示されます。
<b>安全性</b>	データセンター内で画像と個人情報を分離します。モバイル端末からは、画像のみを閲覧する設定もできます。データセンター内の保存期間を設定することで、更に安全性を高めています。
<b>セキュリティ管理</b>	病院内LANと外部WANとはNiサーバで分離することを基本とするため、外部攻撃に対して極めて強固な構造となっています。セキュリティ管理は「ISMSの実践」を「ラジエンスウェア(株)」が行うと同時に「一般社団法人MUCS監査機構」による定期的な監査を実施しています。
<b>拡張性</b>	データセンターを中継拠点とし、複数の医療機関での連携が可能のため、画像配信以外にも「文書配信」「連携パス」などの地域連携システムとしても活用が可能です。
<b>費用対効果</b>	本システムは医療現場の医師や大学研究者と共同で開発を進めており、実用的に作られています。そのため、他社と比較して安価に導入でき、費用対効果が期待できます。
<b>社会貢献</b>	東日本大震災以降、患者データをクラウド保存し、ユビキタス活用が可能なシステムの必要性は高まっています。本システムはこのニーズにマッチしたサービスです。また、医師の負担を軽減できることから勤務医不足の解消にも役立っています。

## 主な活用シーン

- 救急医療現場** 患者紹介時、搬送先へ患者の容態情報 (CT画像など) を事前に送ることで、受け入れ側の準備がスムーズになります。
- 脳神経外科疾患** 脳卒中患者のCTやMRI画像を専門医のモバイル端末へ送り、迅速に指示をもらうことで、適切な処置が可能となり、救命率を上げることに貢献します。
- 患者の急変時** 術後患者の急変時などにレントゲン画像やCT画像を担当医に送ることで、迅速な指示が可能となり、不測の事態を防ぐ事に活かされます。
- ベッドサイドでの対応** 病棟回診時にiPadなどのモバイル端末を用いる事で、患者や家族への説明がスムーズになります。

